

## 「地域医療連携部」のご紹介

地域医療連携部 課長 舟井 博美



みなさまこんにちは。地域医療連携部です。

地域医療連携部…はたして何をしているところなのか…？院内のスタッフも正式名称が出てこない、どこに部署があるのか分からない…なその部署です。看護・リハビリ・検査など、名称がどこの病院も似ているのに対し、病院によって名称が違うため、さらに混乱を極めます。なぜ、認知されていないかを考えると、歴史が浅いことや生命に直結していないことが関連しているのではないのでしょうか。当院では、超高齢社会を迎えるにあたり、早期から退院調整・退院支援を専門的にできるスタッフが必要であることを意識し、平成9年に医療相談員が配置されました。それから20年が過ぎ、国も専門職の必要性を認識し、徐々に強化されるようになり、業務内容も多様化してきました。とは言え、冒頭で申し上げた通り、やはり何をしているのか…。そこで、今日は、地域医療連携部をご紹介します。

地域医療連携部では、患者さま、そのご家族さまからの、医療・介護・福祉に関する相談や、地域の医療機関や介護福祉施設との円滑な連携、在宅復帰への調整等のお手伝いをしています。

### 患者様のサポート

病気になったら様々な心配事が…。  
「誰に相談していいかわからない」ことの相談にのっています。

退院後の生活が心配

入院生活の不安や心配

介護の心配



- ゆっくりとお話を伺います
- 情報提供によるサポートをし、適切な機関や施設を紹介します
  - ・ 社会保障制度や介護・医療・福祉サービスなどについての情報を集め、お伝えします。
  - ・ また、病院の中で相談にのりきれない事柄については適切な機関や施設と連絡を取り合い、紹介します。
- 退院時や退院に向けたさまざまな援助を行います
  - ・ 退院に向けてさまざまな相談をお受けしています。退院のイメージ作りや、状況に応じた退院の選択肢の紹介（病院や施設）、退院後のサービスの紹介、サービス事業所との調整や話し合いを行います。

### 医療機関との連携

- ・ 外来受診、入院相談
- ・ 紹介患者さまの逆紹介、転院などへの対応
- ・ 定期的な連携訪問
- ・ 連携医療機関、連携施設との勉強会や交流会の開催



地域医療連携会議の様子

この他にも、広報誌の作成やホームページの更新などの広報活動。地域ケア会議の参加や地域で行われるイベントへのボランティア参加、地域の講演や研修会などの講師派遣の調整も行っています。

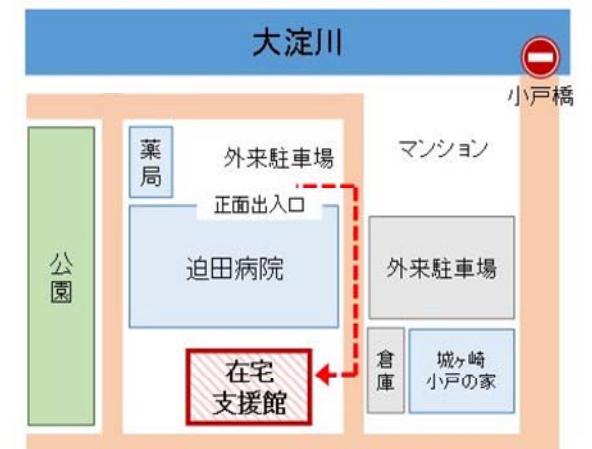
地域医療連携部は、この春より相談員4名（看護師2名・社会福祉士2名）・事務員1名の5名体制になりました。医療分野が得意な看護師と福祉分野が得意な社会福祉士が、協力をしながら皆様の相談や要望に合わせてサポートいたします。

### 相談員さんはどこにいるの？

地域医療連携部の「相談員」は病院の南側にある在宅支援館（右図）にいます。病院受付や各病棟ナースステーションでお呼び出してください。

また、込み入ったご相談や静かなところでゆっくり話しをしたいなどの場合は在宅支援館内にある相談室にてお伺いします。

病院とつながっていないため、ご不便をおかけしますが、いったん病院の外に出られて在宅支援館の方へお越しください。



迫田病院の理念でもある、『すべては患者さまのために、すべては利用者みなさまのために』は、まさしく、私たち相談員が常にここにとめていることです。病気やけが、入院により、元の生活ができなくなる方もいらっしゃいます。全く同じ生活ができないまでも、患者さまやご家族、利用者みなさまの目線に立ち、少しでもお一人お一人が幸せになれるようなあり方を一緒になって考えていきたいと思っております。「相談員さん」とお気軽に声をおかけください。